



# 木更津高専だより

2023  
94号  
March



(高専ロボコン 2022)

## Contents

校長挨拶	1
主事、専攻科長挨拶	2~3
地域共同テクノセンターの活動報告	4
文化デー、ロボコン(地区大会)	5
学園祭(祇園祭)、学友会手持ち花火大会	6
学生表彰、令和4年度いじめ防止短歌コンテスト結果	7
4年生見学旅行	8~10
お知らせ	11

## ● 校長挨拶

### 校長 山崎 誠

卒業生・修了生の皆さん、卒業・修了おめでとう。この日を待ち望んでこられた保護者の皆様、心からお祝いを申し上げます。また、本校の教育にご支援いただいている関係の皆様にお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まって3年が経ちましたが、感染が収まる状況にはありません。それでも、社会活動は徐々に通常の形に戻りつつあり、今年度は通常授業を続け、学校行事も人数制限等の制約はありました。実施することができました。高専の体育大会も地区大会・全国大会ともほぼ通常の形で開催され、各種コンテストも集合型で実施されました。学校行事も、体育祭、文化デー、祇園祭を行うことができました。とはいえ、学生の皆さんには、多くの制約がある中で授業や課外活動を行うことになり、大きな負担をかけました。3年に渡って多くの困難はありましたが、卒業・修了の日を迎えることができました。学生諸君の健闘を称えたいと思います。

皆さんのが学んだ木更津高専は、15歳から始まる早期技術者教育、専門教育を行う高等教育機関です。そして、専攻科修了生の皆さんには、本科5年の学習に加え、更に2年間深く専門を学び、卒研も含めれば3年間の継続的な研究活動を行い、学会発表を行った学生もいます。10代後半から20代初めの、柔軟で最も多感な時期に専門的な勉学を思いつきりできたことで、皆さんには大きく成長したと思います。

さて、世界に目を向けてみると、ロシアのウクライナ侵攻、新型コロナウイルスの感染拡大、自然災害、食糧危機、エネルギー危機等多くの問題が人類の生活を脅かしています。そして、これらは科学技術の発展や応用に関係しているものもあり、その問題解決にも科学技術の進歩が欠かせません。皆さんには社会の発展を願って木更津高専で学んできたと思います。皆さんには将来これらの課題に立ち向かう場に立つと思います。その時、木更津高専と一緒に学んだ仲間や家族のことを思い出し、また周りの人々の笑顔を思い浮かべ、困難な課題に取り組んで下さい。

木更津高専は少し高台にある高専です。敷地には起伏があり、変化のあるキャンパスだと思います。そして、羽田空港を発着する航空機が青空を背景に飛行する姿を見ることもできます。貴重なキャンパス風景です。他の高専には無い特色があるキャンパスで、皆さんには未来を夢見て学習や研究を行なえたことは恵まれた体験です。

卒業生の皆さんには、授業を通じて学んだ知識や技術、部活動等の体験をバネに、修了生の皆さんには、専攻科で身に着けた高度な知識、研究活動の体験を土台に、次の一步を踏み出して下さい。皆さんには活躍できる舞台が待っています。大きな飛躍のチャンスもあります。社会をより良くしていくことが皆さんの夢でしょう。皆さんには未来を切り開く力があると私は確信しています。

卒業生・修了生のこれから活躍を祈念しています。



## ● 主事、専攻科長挨拶

### 教務主事 岡本 保(電気電子工学科 教授)

卒業生・修了生のみなさん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。また、卒業生、修了生のご家族の皆さんにも心よりお祝い申し上げます。

今年度は新型コロナウイルスの影響はありましたか、ほとんどの授業を対面で実施することができ、体育祭、文化デー、祇園祭、見学旅行などの学校行事も開催することができました。かなり平常に近づいてきたと思います。非常に喜ばしいことです。みなさんも充実した学生生活を過ごせたと思います。



最近の報道などでも見聞きしていると思いますが、高専は国内に限らず世界で注目されています。少子化で学校の統廃合が進む中でも高専の数は増えており、海外でもKOSENの導入が進められています。さまざまな社会課題の解決のためにみなさんの活躍が期待されています。これから、多くの答えのない問題に取り組んでいくことになると思いますが、木更津高専で身に着けた様々な力がきっと役に立つはずです。是非、自信をもってください。実践的・創造的技術者として、みなさんの今後の活躍に期待します。

### 学生主事 坂田 洋満(人文学系 教授)

卒業生・修了生のみなさん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。木更津高専での学生生活はいかがだったでしょうか?みんなさんが本校で過ごしたこの期間には、平成から令和への移行や成年年齢の引き下げなど、たくさんの重大な出来事がありました。中でも、新型コロナウイルス感染症は、今や当たり前になってしまったマスク生活、緊急事態宣言による社会経済活動の制限、開催予定であった東京オリンピックの史上初の1年間延期、学校では遠隔授業による学びの継続、などなど社会に大きな影響を与えました。課外活動やイベントなど集団での活動は、感染拡大を避けるために強い制限がかけられ、我々の心にもソーシャルディスタンスをもたらした気がします。



人と人が触れ合い共に活動することは、人間性を高めるためにも精神的な安定を図るためにも非常に重要な要素であると考えられます。また、心の安定は、我々が健康で幸せに生きていく上で最も大切な条件の一つだと私は考えています。

これからはみなさん自身が決めたそれぞれの進路を歩んで行くわけですが、是非、家族や友達、先輩、後輩、師など皆さんを支えてくれる人たちを大切にしてください。困ったときには1人で悩まず誰かに相談をしてみましょう。また、困っている人がいたら、ちょっと声をかけてあげてください。誰かと話することで、きっと元気が出てくるはずですし、ちょっと視点を変えれば、新たな発見に繋がる可能性もあります。人と人が支え合える社会を、まずは自分の周りからつくりていきたいですね。最後に、みなさんの今後のご健勝とご活躍を心より祈念し、祝福のご挨拶いたします。

## ● 主事、専攻科長挨拶

### 寮務主事 清野 哲也（人文学系 教授）

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業、ご修了おめでとうございます。また、ご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

皆さんにとって、高専での5年、もしくは7年という期間はどのようなものだったでしょうか。勉学、課外活動、独自に取り組んだ事柄など、強く印象に残るものがそれぞれにあると思います。そして、そこでは相応の努力や苦労を伴ったはずであり、費やしたエネルギーが大きいほど自身の成長を促してくれたものと思います。本校で積み上げたものを土台にして、これから臨む新しい生活環境でも力を発揮してください。

さて、人生は選択の歩みとも言えます。何事においても自分で満足のいく決断ができるべきですが、迷うときもあると思います。選択を迫られたときに、これがやりたい、これしかないというベストな選択があればよいのですが、ない場合ではよりよい選択を、それができないときはより悪くない選択を行うことになります。いずれにしても大事なのは、自分で決めたことに対して、一定のゴー ルに辿り着くまではやり抜くことではないでしょうか。振り返ったときに納得のいく道ができているように、日々努力を積み重ねてほしいと思います。



### 専攻科長 大枝 真一（情報工学科 教授）

卒業生、修了生の皆様、ご卒業・ご修了おめでとうございます。

皆さんが木更津高専で過ごした本科5年間、あるいは専攻科2年間を含めた7年間はいかがだったでしょうか？長かったと感じる人もいれば、あっという間だったという人もいると思います。この高専生として過ごしたかけがえのない時間は皆さんの今後の人生にとってどのような意味を持つのでしょうか。私は、知識や技術に「変換」されたのだと考えます。どんな人にとっても1日は24時間、1年間は365日です。保存することもお金をして買うこともできない貴重な時間は、知識や技術に変換されたことによって価値を持ち、より長い今後の人生で皆さん自身を助け続けます。この知識や技術に変換された時間は、他の人を助けるために使われることになるのです。

時間には限りがあります。卒業後も時間を知識や技術に変換する自己研鑽に励んでください。学問ほど面白いものはありません。木更津高専で学んだことを基礎とし、新しい世界を作る技術者、研究者になってください。皆さんの大きな飛躍を期待しています。



# 地域共同テクノセンターの活動報告

地域共同テクノセンター長 島崎 彦人(環境都市工学科 教授)

地域共同テクノセンターは、地域社会の発展と高専の教育・研究環境の充実をはかるため、産業界や自治体等と連携しながら様々な活動を展開しています。令和4年度も技術振興交流会や地域社会の皆様にご支援いただきながら、共同研究や受託試験、技術相談、テクノフォーラム、キッズサイエンスフェスティバル、公開講座や出前授業等に取り組んでまいりました。以下では、キッズサイエンスフェスティバルとテクノフォーラムに焦点を絞り、本稿執筆時点までの活動状況をご報告いたします。

令和4年8月、200名を超える小学生と保護者が来校するキッズサイエンスフェスティバルを本校で開催しました。コロナ禍の影響による過去2年の開催自粛期間を経ての久しぶりの開催となりましたが、地域共同テクノセンター副センター長の高橋美喜男先生に実行委員長としてご尽力いただき、成功裡に実施することができました。キッズサイエンスフェスティバルは、小学生に「ものづくり」や「科学的体験」などの機会を提供する夏休みイベントです。高度な科学技術が支える未来社会の担い手となる子供たちを、早期に発掘、育成、確保することにもつながる重要な取り組みです。開催にご協力いただいた本校教職員と学生のホスピタリティ、そして、参加した子供たちの好奇心に満ちた瞳が強く印象に残っています。

令和4年10月には、人数制限を設けた集合形式とオンライン配信を併用したハイブリッド形式で、第36回テクノフォーラムを開催しました。「スタートアップ創出元年」の令和4年にふさわしく、若き起業家である松崎博貴様をお招きし、「就職するか／進学するかの2択ではない。第3の選択肢としてのスタートアップ起業」と題してご講演いただきました。進路を考える学生にとって、松崎様のご講演は視野を広げる良い機会になったはずです。経営者や技術者の方々も、革新的な商品やサービスを生み出すうえで大切なものは何か、その答えを導くヒントを得たに違いありません。なお、松崎様にご講演をお願いするにあたり、千葉県産業振興課ならびに東葛テクノプラザの皆様には大変お世話になりました。この場をお借りして心より御礼を申し上げます。

地域共同テクノセンターは、今後も、皆様のご理解とご支援を賜りながら、地域社会との連携機能を強化し、人材育成の基盤となる高専の研究力を向上させ、教育環境の拡充をはかるための活動に取り組んでまいります。



テクノフォーラム講演会の様子



キッズサイエンスフェスティバルの様子

## 文化デー

10月18日、文化デー・芸術鑑賞会「林家彦いちの熱血！ 落語道場」を開催しました。この催しは、学生が科学技術の修得だけでなく、日本伝統の文化・芸能等に触れ、幅広い教養を身につけることを目的として産業界の著名人等による講演のほか、演劇、音楽、古典芸能などを在学中1度は鑑賞できるように開催しているのですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度、一昨年度に開催することができませんでした。今年度は、感染状況も落ち着いてきたことに加え、高専創立60年の節目を迎えたこともあり、高専創立60周年記念事業の一環として文化デーの準備を進めてきました。

今年度は感染防止の観点から本校の第一体育館にて午前、午後に分けて同一の演目を2回行いました。岡本保教務主事の挨拶の後、林家彦いちさんの落語解説と各3名の学生によるワークショップが行われました。また、アサダ二世さんによる奇術では午前は人文学系・荒木英彦先生、午後は情報工学科・米村恵一先生が参加し、大変盛り上がりました。古今亭志ん五さん、林家彦いちさんの落語では、学校ネタや時事ネタなどを盛り込んだ大変面白いお話でした。多くの学生には落語は初めてだったようで、大変貴重な体験ができたのではないかと思います。

### 【演目】

- ▶ 林家彦いち :解説・ワークショップ
- ▶ 古今亭志ん五 :落語
- ▶ アサダ二世 :奇術
- ▶ 林家彦いち :落語



## ロボコン(地区大会)

### ロボコン指導教員 伊藤 裕一(機械工学科 准教授)

2022年10月16日、高専ロボコン2022関東甲信越地区大会が開催されました。(主管:小山高専)

3年ぶりの対面・現地開催となり、対戦形式による競技も復活しました。大会には関東甲信越の10高専20チームが参加し、木更津高専からはロボット研究同好会が製作した「メカガンナー」と「フライターブラザーズ」が出場しました。

今年の競技課題は「ミラクル☆フライ～天へ舞いあがれ!～」と題して、各高専が様々な機構を用いてオリジナルの紙飛行機を飛ばし、指定の場所に着陸させポイントを集め、合計得点を競うという、とてもチャレンジングな競技でした。

Aチームの「メカガンナー」は、2種類の機構を搭載し、一方はゴムを用いたパチンコの要領で、もう一方は回転するローラで飛行機を挟み込んで飛ばす、というロボットを作成しました。

Bチームの「フライターブラザーズ」は、事前に折られた紙飛行機をローラで発射する機構と、ロボットが自動で紙飛行機を折ることができる機構の2つの機構を載せたロボットを作成しました。

残念ながら両チームとも緒戦敗退となり、全国大会への切符を手にすることはできませんでしたが、Bチームは事前に折られた紙飛行機を飛ばすのではなく、紙を折って紙飛行機を作成してそれを飛ばす、という難しい方法にチャレンジしたことを評価され、エキシビションマッチに参加(20チーム中 4チームの参加)することができ、さらなるパフォーマンス披露の機会を頂きました。

今年度は両チームともにチームリーダーとして1年生の学生さんが抜擢されました。例年ですと、上級生がリーダーとなって豊かな知識と経験をもとにチームを率いていく、という形が多かったですが、今年は学年や経験など関係なくチーム一丸となって頑張っている姿が印象的でした。結果だけ見ると残念なものだったかも知れませんが、今後もさらに技術を磨き、己を磨き、より良いロボットを製作していきますので、応援のほどよろしくお願い致します。

ロボコン活動に際しまして、保護者の皆様、教職員の皆様のご協力・温かい応援を頂きました。深く感謝申し上げます。



Bチームのロボットより射出された紙飛行機

## 学園祭(祇園祭)

### 学生主事補 沢口 義人(電子制御工学科 教授)

さわやかな秋晴れの10月29日(土)と30日(日)の両日にわたり、「高専復古の大号令 Lively days are back!」のテーマのもと、木更津高専祇園祭を実施しました。

年度当初の4月に学生間で祇園祭実行委員会の役員を決め、その後半年間をかけて、昨年度は本校学生と教職員のみとした来場制限をどうするか、どのような感染対策を実施するかなど、議論を重ねつつ学生主体で準備を進めました。本校首脳部の先生方のご意見も踏まえて、各日の午前と午後それぞれ500名を上限として、本校学生の保護者と、中学生とその保護者の方々にも、事前予約の上でご来場いただけたこととなりました。

感染対策の一環として飲食企画無しとしたものの、数多くの工夫を凝らした企画が出展され、来場者のみなさまに大いに楽しんでいただけました。小学生以下の子さんをお連れの方々に入場をご遠慮いただいたことが心残りではありますが、本校学生の底力を示す、大きな学びの場となった祇園祭でした。

ご来場いただいたみなさまには、諸々のご協力を賜りありがとうございました。来年度には特段の来場制限なしで、さらなる盛り上がりが得られる状況となることを願っています。



## 学友会手持ち花火大会

### 学生主事補 小原 翔馬(電気電子工学科 講師)

1月18日(水)に学友会主催の手持ち花火企画が行われました。

昨年度から開催されたこの企画は「コロナ禍でも学生が楽しめる企画を」という学生の想いから始まった企画で、今回は約200名の希望学生が参加しました。

開催当日は大人数の密集を避けるように間隔を取ったり、各所に水入りのバケツを置く等、感染対策や火災対策を万全にして行われました。参加した学生は真冬に花火をしながら笑い合ったり、各々が写真撮影をしたりと、非常に盛り上がっていました。

コロナ禍で学校行事が制限される中、学友会執行部の学生は、学校側や周囲に納得してもらえるよう安心安全に、かつ学生が楽しめて思い出に残る企画を開催するために一生懸命に計画していました。積極的な行動や意見が慎重にならざるを得ない昨今に、未来を切り拓く学生のパワーを感じました。また、その瞬間に担当教員として関わったこと、学生と楽しい時間を共有させて頂いたことを誇らしく思います。願わくば、来年以降もこの企画が続くよう願うと共に、そのためにより一層尽力して参りたいと感じました。



# 学生の特別表彰者一覧

次の学生の皆さんは、課外活動および学業において優れた成果を挙げた業績により、特別表彰として、校長より賞状と副賞が授与されました。今年度の表彰式も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関係者のみで行われました。

## 【特別表彰を受賞した皆さん】

### ■ 令和4年度 優秀学生賞

機械工学科	5年	山田 真緒
電気電子工学科	5年	関 遥
電子制御工学科	5年	大久保友弘
情報工学科	5年	原田 そら
環境都市工学科	5年	桑原 陸

### ■ 令和4年度 第129回技術英語能力検定試験 文部科学大臣賞

環境都市工学科	3年	品田 晴己
---------	----	-------

### ■ 第57回全国高専体育大会

(陸上競技)

女子走高跳	1位	電気電子工学科	4年	佐藤 凜
女子走幅跳	3位	電気電子工学科	4年	佐藤 凜
女子総合	3位			
(野球競技)	3位			

### ■ 令和4年度 土木学会全国大会 第77回年次学術講演会 優秀講演者

環境建設工学専攻	2年	葛西 樹生
----------	----	-------

### ■ 第20回 情報科学技術フォーラム(FIT2021) ヤングリサーチャー賞

制御・情報システム工学専攻	2年	飯棲 俊介
---------------	----	-------

※特別表彰…担任等からの推薦に基づき、賞罰審査会議において、特に優れた成果を収めた学生に対し表彰をするもの。

(学則第52条)

# 令和4年度 いじめ防止短歌コンテスト結果

学友会の学生企画として、11月にいじめ防止をテーマとした短歌コンテストを実施しました。

級長会での審査の結果、下記のように優秀作品が選出されました。たくさんのご応募ありがとうございました。

### 最優秀賞(1点)

1C	星野 雪	きみの前 俯く彼は どんな人 「知る」からつくる 僕らの絆
----	------	-------------------------------

### 優秀賞(3点)

4C	飯田 慧琉	傍観者 最も多い いじめっ子 噫い嘆われ ひとり泣く彼
2C	奈須野真優	その言葉 送信前に 考えて 心の傷は 削除できない
2C	安田 朱里	もしも今 一人で抱えて いるのなら 話してほしい 独りじゃないから

### 学年優秀賞(各1点×5学年)

1D	柴崎 俊彬	口にした あなたにとっての 一瞬は 誰かにとっての 一生分
2C	石井 めぐみ	消えないよ ずっと残るよ その言葉 あの子の心 壊さないでね
3E	渡邊 航輝	「大丈夫」 言葉の裏に 潜む声 気づかないふり 伝播していく
4年	該当者なし	
5年	該当者なし	

### 特別賞(2点) →学年優秀賞で4,5年が該当者なしだったため

1E	土屋 沙織	マスクだけ? 蔓延防止 いじめにも 気づいていこう 心の悲鳴
1C	中西 乙詩	もう遅い そうなる前に 拾いたい 小さな声と 必修単位



## 機械工学科

引率教員 **歸山 智治**

機械工学科の見学旅行では関西方面に行きました。

初日は、東京ビックサイトにて開催されていた日本国際工作機械見本市JIMTOF2022でした。ここでは、普段目にすることのない大きさの機械や最先端の工作機械、機械工具、その他工作機械に関する環境対応機器装置などを見学しました。

2日目は、サントリー高砂工場にて清涼飲料水等がどのような生産ラインで製造されているのかを見学しました。ここでは、さらに機械工学科を卒業した学生が生産技術等においてどのように活躍できるのか等を木更津高専のOBの社員の方から直接説明を受けることができ、かなり現実的な目線での職業選択についてよい指針を得られたのではないかと思います。

今回の見学旅行はコロナ発生後初めての実施ということもあり、見学先以外の時間では例年通りということもできない状況でしたが、学生にとっては有意義な見学旅行となつたと思います。



## 電気電子工学科

引率教員 **若葉 陽一**

電気電子工学科は、中部・関西地方に見学旅行に行きました。

初日は豊橋技術科学大学で4つの研究室を見学させていただきました。他大学にはないLSI工場の見学や、電気エネルギーの高効率化に向けた最新の研究を見せていただき、豊富な研究設備と研究力の高さを知ることができました。夜はみんなで名古屋駅付近の展望台で皆既月食を観察し、感慨深いものがありました。

2日目午前はパナソニック株式会社アプライアンス社に訪問し、家電の製造現場を見学しました。生産技術という職種を具体的に知ることができ、学生が進路を決める上で1つの指標になったと思います。午後は関西電力を訪問し、火力発電とLNGについて歴史から最新技術まで説明をしていただきました。LNGに興味を持った学生も多く、色々質問をしている様子も見られました。カーボンニュートラルに向けた電力業界の試みを知るいいきっかけになったと思います。

3、4日目は大阪・京都の自由見学で各々有意義な時間を過ごしていました。

今回の見学旅行はコロナ禍の中、3年ぶりの実施でしたが、無事終えることができました。学生たちには今回の経験を活かし、進路選択をしてほしいと願っています。



## 電子制御工学科

引率教員 奥山 彌夢

電子制御工学科は、名古屋および関西方面への見学旅行を実施しました。

1日目は、羽田空港のANA機体整備場を見学し、午後に名古屋へ移動しました。機体整備場では整備中の機体を間近で見学し、とても貴重な経験となりました。

2日目は午前中に名古屋電機工業株式会社、午後にトヨタ産業技術記念館を見学し大阪へと移動しました。名古屋電機工業株式会社では、工場内に日本初の電工情報版の展示などがあり歴史的なものから最新の製品まで見学しました。トヨタ産業記念館では紡績の方法などを興味深く見学している学生が多くいました。

3日目は自主研修日で、各自の興味関心のある場所へ赴き研修しました。多くの学生はUSJへ赴きアトラクションの電子制御技術を体験しに行ったようです。

4日目は、京都で東寺、清水寺を見学した後、東京へ戻りました。あっという間の4日間でしたが、学生らにとて久しぶりの大きなイベントで良い思い出ができるとともに今後の進路選択の参考になる旅行になったと思います。



## 情報工学科

引率教員 能城 沙織

情報工学科は、筑波、関西方面に行きました。

初日に見学したCYBERDYNE STUDIOとJAXA筑波宇宙センターでは、装着型サイボーグの体験や、通常では入れないエリアが見られる見学ツアーへの参加等、貴重な経験ができました。筑波宇宙センターでは、情報工学科のOBの先輩から学生時代の話や現在の仕事の話など、進路選択の参考になるお話を伺うことができました。

2日目は京都を見学しました。午前中に訪ねた京都工芸纖維大学では、大学内の美術館や図書館を見学し、大学の特色を感じることができました。午後は鞍馬、貴船方面を訪ねました。鞍馬寺の本堂までは徒歩約30分の坂道でしたが、軽々と登る学生もいれば息を切らして泣き言をいう学生もいて、普段とは違う一面を垣間見ることができました。その後参拝した貴船神社では、紅葉も始まり夜間のライトアップが始まろうとする時間帯で、秋の京都を満喫することができました。

3.4日目は自由行動でしたが、各自非日常を楽しんでいたようで、多くの楽しい報告を聞くことができました。

多くのイベントが中止や縮小となった本学年ですが、無事に見学旅行を実施できて本当にうれしく思います。学生達の大切な思い出の一つとなっていたら何よりです。



コロナ禍のため、令和元年以来の見学旅行を実施することになりました。保護者をはじめ、関係する皆様方へ厚く御礼を申し上げます。さて、九州地方の見学旅行が多かった本学科は、陸路で久し振りに近畿地方まで足を延ばすことになりました。

1日目は本校からバスでアクアラインを通り、最初に川崎臨港道路（斜張橋）の工事現場を見学しました。次に羽田空港D滑走路の事業説明を受けて、横浜大さん橋港から見える土木構造物と街並みの説明を受けた後、彦根市に移動しました。

2日目は琵琶湖博物館にて、琵琶湖の成り立ちから、人々の生活、生態環境など、多くの分野を学習しました。次に紫式部のゆかりの地、石山寺洗心寮で昼食し、寺内を散策しました。その後、大阪に移動し、2022建設技術展近畿に参加し、最新の土木技術やその動向を学習しました。

3日目、4日目の出発までは学生自らの研修計画に基づき、行動しました。当初学生たちは高専に入って初めての団体旅行のため、躊躇していた部分はありました。建設工事や最新の技術、環境学習などを学んで語り、実りのある見学旅行となりました。



琵琶湖博物館にて

## 令和4年度 第4学年見学旅行 日程一覧

	学科	機械工学科	電気電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	環境都市工学科
引率者	鈴山 智治 高橋 美喜男	若葉 陽一 栗本 祐司	奥山 彩夢 星野 真紀	能城 沙織 米村 恵一	鬼塚 信弘 川名 麻紀	
11/8(火)	行き先	JFEプラントエンジ見学 JIMTOF見学	豊橋技科大	羽田空港にてANA整備工場見 学 名古屋で自主研修	筑波 (サイバーダインスタジオ、 JAXA)	国土交通省工事現場見学 (川崎地区臨海道路) 羽田空港事業見学 横浜港シンボルタワーの見学
	宿泊先	神戸元町東急REIホテル	チサンイン名古屋	第一富士ホテル	スーパーホテル新横浜駅前店	コンフォートホテル彦根
11/9(水)	行き先	大阪にて企業見学 カワサキワールド見学	パナソニックアプライアンス社 関西電力	名古屋で企業見学 トヨタ産業記念館の見学	京都工芸繊維大学 京都で歴史的建造物の見学	琵琶湖博物館の見学 建設技術展近畿
	宿泊先	ベッセルイン心斎橋	ハートンホテル心斎橋	サニーストンホテル新大阪	ベッセルインなんば	イビスパジェット大阪梅田
11/10(木)	行き先	関西で終日自主研修	関西で終日自主研修	関西で終日自主研修	関西で終日自主研修	終日自主研修
	宿泊先	ベッセルイン心斎橋	ハートンホテル心斎橋	サニーストンホテル新大阪	ベッセルインなんば	イビスパジェット大阪梅田
11/11(金)	行き先	出発まで関西で終日自主研修 帰京後解散	京都で自主研修 帰京後解散	京都で歴史的建造物の見学 帰京後解散	出発まで関西で終日自主研修 帰京後解散	出発まで自主研修 帰京後解散
	宿泊先					

# お知らせ

## 保健室より



ウィズコロナの生活はもうしばらく続きそうです。5月には感染症法の位置づけの変更が予定されていますが、各自、学校から配信される対応指針や連絡をしっかり確認した上で学校生活を送るようお願いします。

また、インフルエンザやノロウイルスによる感染性胃腸炎も注意が必要な季節です。

感染症予防の基本は、正しい手洗いです。石鹼をよく泡立てて、トイレの後、食事の前、調理の前後、外出から帰宅した時など、忘れずに行なうようにしましょう。

・十分な休養と栄養補給、うがい、咳エチケット、マスクの着用、3密をさけ、「新しい生活様式」を心がけましょう。

・体調が悪い時には登校を控え、様式1(<https://forms.office.com/r/tBaCXUSXRr>)を入力の上、抗原検査キットでの検査や医療機関で診察を受けてください。感染症に感染している、またはその疑いがあると診断された場合は、公欠(要診断書等)となります。

春休み中は生活のリズムが崩れがちです。毎年春休み明けには、昼夜逆転など、不規則な生活が原因と思われる体調不良の人が多く保健室にやって来ます。新学期に良いスタートを切れるよう、規則正しい生活を送るようにしましょう!



### 〈健康づくりのための睡眠指針2014～睡眠12箇条～〉

1. 良い睡眠で、からだもこころも健康に。
2. 適度な運動、しっかり朝食、ねむりとめざめのメリハリを。
3. 良い睡眠は、生活習慣病予防につながります。
4. 睡眠による休養感は、こころの健康に重要です。
5. 年齢や季節に応じて、ひるまの眠気で困らない程度の睡眠を。
6. 良い睡眠のためには、環境づくりも重要です。
7. 若年世代は夜更かしを避けて、体内時計のリズムを保つ。
8. 勤労世代の疲労回復・能率アップに、毎日十分な睡眠を。
9. 熟年世代は朝晩メリハリ、ひるまに適度な運動で良い睡眠。
10. 眠くなってから寝床に入り、起きる時刻は遅らせない。
11. いつもと違う睡眠には、要注意。
12. 眠れない、その苦しみをかかえずに、専門家に相談を。



(健康づくりのための睡眠指針2014厚生労働省より引用)

## 年度末・年度始めの行事

- 2/28(火)～3/31(金) 学年末休業  
3/17(金) 卒業式・修了式
- 4/ 1(土)～4/ 5(水) 春季休業  
4/ 4(火) 開寮(2年生以上)  
4/ 5(水) 開寮(新入生)  
4/ 6(木) 入学式  
4/ 7(金) 始業式  
4/10(月) 授業開始

## 学生相談室より



学生相談室は、皆さん一人一人が充実した学生生活を送れるようにサポートしていくところです。相談内容についてはかたく秘密を守りますので安心してください。相談室は講義棟A1階 保健室隣にあります。保護者の方の相談も対応いたします。

☆相談内容としては次のようなことが挙げられます。

- ・学業・進路について
- ・自分の性格や対人関係について
- ・健康について
- ・その他(家庭の事情で悩んでいる、経済的に困っている、恋愛、性、宗教のことなど)

☆いつ?

- ・学生相談室長及び看護師は、随時
- ・カウンセラー(長期休業期間や試験期間は変更の可能性があります)

愛甲先生 火曜日の10時～17時

木曜日の13時～17時

金曜日の13時～18時

月1回水曜日の15時～17時

坂本先生 月曜日の12時～17時

水口先生 水曜日の12時～17時



☆相談予約は?

■ 保健室で受付けています。

電話:0438-30-4036

E-mail:soudan@a.kisarazu.ac.jp

## “祝”永年勤続教職員表彰

### (勤続20年)

環境都市工学科	教 授	青木 優介
電気電子工学科	准教授	飯田 聰子
電子制御工学科	准教授	岡本 峰基
環境都市工学科	准教授	湯谷賢太郎

### (退 職)

人文学系	教 授	篠村 朋樹
総務課	課長補佐(財務)	金巻 一彦

### 計 報 謹んでお悔やみ申し上げます ※敬称略

城戸 法政 (元人文学系教授)

久松 俊一 (名誉教授)



独立行政法人国立高等専門学校機構  
**木更津工業高等専門学校**  
ホームページ <https://www.kisarazu.ac.jp/>



木更津高専だより第94号 令和5年3月発行  
〒292-0041 木更津市清見台東2-11-1  
☎0438-30-4000